



平成 16年 12月期 第 3 四 半 期 財 務 情 報 (連 結)

平成 16年10月29日

上場会社名 サッポロホールディングス株式会社

上場取引所 東 札

コード番号 2501

本社所在都道府県

(URL <http://www.sapporoholdings.jp>)

東京都

代 表 者 役職名 取締役社長 氏名 岩間 辰志

問合せ先責任者 役職名 経営戦略部長 氏名 持田 佳行 TEL (03) 5423 - 7209

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 有

(内容) その他有価証券については、9月末日現在の時価で評価しておりますが、減損処理は行っていません。

減価償却費については、年度見込額のうち第3四半期までの分を計上しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 (新規連結 2社、新規持分法適用 2社)

2. 16年 12月期第3四半期の業績概要 (平成 16年 1月 1日 ~ 平成 16年 9月 30日)

(1) 経営成績 (連結) の進捗状況

記載金額は百万円未満を切り捨てております。

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期 (当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
16年12月期第3四半期	363,748	6.1	17,815	-	14,122	-	9,822	-
15年12月期第3四半期	342,872	-	585	-	5,544	-	23,211	-
(参考) 15年 12月期	479,520		13,330		6,788		2,412	

	1株当たり	潜在株式調整後
	四半期 (当期) 純利益	1株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
16年12月期第3四半期	27.64	25.23
15年12月期第3四半期	67.44	-
(参考) 15年 12月期	6.95	-

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期比増減率を示しております。

(2) 財政状態 (連結) の変動状況

	総 資 産	株 主 資 本	株 主 資 本 比 率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
16年12月期第3四半期	628,107	97,358	15.5	274.03
15年12月期第3四半期	618,767	61,564	10.0	173.15
(参考) 15年 12月期	630,637	87,364	13.9	245.80

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による	投資活動による	財務活動による	現金及び現金同等物
	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	キャッシュ・フロー	期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
16年12月期第3四半期	24,196	2,865	6,682	36,667
15年12月期第3四半期	8,946	2,436	2,701	13,638
(参考) 15年 12月期	30,476	10,956	42,757	8,455

[参考]

平成16年12月期の通期業績予想につきましては、平成16年8月6日に発表いたしました業績予想に変更ありません。

添付資料

- ・四半期連結 (要約) 貸借対照表
- ・四半期連結 (要約) 損益計算書
- ・四半期連結剰余金計算書
- ・四半期連結 (要約) キャッシュ・フロー計算書
- ・セグメント情報
- ・生産、受注及び販売の状況

平成16年12月期 第3四半期連結業績の概況（9ヶ月間の累計）

1. 第3四半期の概況

当第3四半期（平成16年1月1日から平成16年9月30日まで）の連結売上高は、酒類、飲料の売上数量が増加したことなどにより、3,637億円（前年同期比208億円、6%増）となりました。連結経常利益につきましては、141億円（前年同期比196億円増益）となりました。

各セグメント別の概況につきましては以下のとおりです。

【酒類事業】

ビール事業では、7月の猛暑というプラス要因もありましたが、昨年5月の発泡酒増税の影響を引きずる市場環境のなか、以下のマーケティング施策を展開しました。

スッキリとした味わいと低価格が特徴の「サッポロ Draft One（ドラフトワン）」は、7月に過去最高の出荷194万函を記録するなど、当社主力商品へと成長しました。この好調を受け、4月に上方修正した年間計画1,400万函を7月には1,700万函へと再度の上方修正を行いました。

「エビスビール」は高いブランド評価が定着し、前年水準を上回りましたが、「エビス<黒>」は前年を下回りました。この影響で1～9月までのエビスブランド合計売上数量は前年同期比99%となりました。

「サッポロ生ビール黒ラベル」は、「セパレシステム」による業務用樽生の拡販策の成果もあり、ビール総需要低迷の中、1～9月までの売上数量は前年同期比94%と、下げ幅を縮小しました。

発泡酒では、「北海道生搾り」と協働契約栽培原料だけで製造した「麦100%生搾り」という「生搾りブランド」に集中させたブランド構築を進めていますが、昨年の増税以来の発泡酒減少傾向と新ジャンル商品の影響もあり、1～9月までの売上数量は前年同期比72%となっています。

上記の結果、ビール・発泡酒・ドラフトワン合計の1～9月までの売上数量は、前年同期比112%を記録しました。これは、ドラフトワンなどの新ジャンルを加えた総需要の約100%と比較しても、大幅な伸長を果たすことが出来たといえます。

ワイン事業では、リーズナブルな価格と本格的な味わい、そして親しみやすい小型カンガルー「ワラビー」のラベルが特徴の豪州産ワイン「イエローテイル」を9月に発売しました。

国産ワインでは、国産ワインコンクールで2年連続金賞を受賞した「グランポレールシリーズ」を中心に高品質をアピールしています。また、「うれしいワイン」「クリアドライ」といった国産低価格ワインも、この分野のトップシェアを維持しており、国産ワイン第2位の地位を定着させました。

この結果、ワイン総需要の低迷が続く中で、1～9月までの国産・輸入ワイン合計の販売数量は前年同期比で101%と総需要を上回っています。

また、近畿地区で9月28日に先行発売した缶入りスパークリングワイン「シングルメイド」の販売も好調に推移しています。

以上の結果、酒類事業の売上高は2,646億円（前年同期比166億円、7%増）となりました。

【飲料事業】

飲料業界は、夏場の記録的な好天、猛暑の追い風を受け、1～9月では前年同期比で約

106%の伸長をしたものと推定されています。

このような中、当第3四半期も新商品の投入など積極的なマーケティングを展開し、業績の拡大とともに、今後に向けての更なる事業基盤の強化を図りました。

主力の「玉露入りお茶」については、お客様の健康志向を背景とした無糖系飲料の拡大に加えて好天にも支えられ、順調に拡大しました。

また、特に夏場の需要が大きい炭酸飲料については、大人向けの商品として位置付けた「SPARKLING」ブランドの新商品を複数発売し、前年同期比5割を超える高い実績を収めることができました。

今後の基盤強化に向けての取り組みとして、海外の有力ブランドとの販売提携を進め、8月にドイツナンバーワンの売上を誇るドイツ産発泡性ナチュラルミネラルウォーター「ゲロルシュタイナー」を発売、9月にはアメリカの有力果汁ブランドである「オーシャンスプレー」ブランドの第一弾として「オーシャンスプレー クランベリー」を発売しました。

また本年2月に発売し好評を頂いている「北海道 贅沢ミルク&コーヒー」については、将来の基軸商品のひとつに育成すべく、リニューアルの実施と同時にキャンペーンを展開しました。

以上の結果、飲料事業の売上高は524億円（前年同期比39億円、8%増）となりました。

【外食事業】

外食業界は、7月には空梅雨・猛暑による増収効果があったものの、8月はその反動やアテネオリンピックによる影響を受けるなど、回復感に乏しい状況でした。

このような中、「ビヤホールの復活」をテーマとした既存店の再活性化と、新規出店による事業規模の拡大をはかりました。

既存店につきましては、収益の回復が順調に推移していたことに加えて、7月の空梅雨・猛暑が大きな増収要因となり、1～9月の累計売上の前年同期比が100%を超えるなど、「ビヤホールの復活」が顕著になりました。

また、北海道日本ハムファイターズの本拠地となった札幌ドーム内の店舗は、チームの活躍と地元ファンの盛り上がりにより大幅な増収となりました。

7月以降の新規出店につきましては、東京・丸の内に「かこいや 丸の内オアゾ店」を、仙台・国分町には東京地区以外では初めてとなる「点（ともる）」業態店を出店するなど、4店舗を出店しました。

以上の結果、外食事業の売上高は202億円（前年同期比2億円、1%増）となりました。

【不動産事業】

本年10周年を迎える「恵比寿ガーデンプレイス」においては、年初より様々なイベントを開催し、また、街の機能強化策としてオフィスコンビニや託児所の導入等を実施しました。また「サッポロファクトリー」におきましても、9月にファッションエリアにおけるテナントミックスの変更を行いました。

このような取り組みを通じ、街の魅力アップと話題性喚起に努めましたが、不動産事業の売上高は171億円（前年同期比6億円、4%減）となりました。

【その他の事業】

ホテル事業では、本年10周年を迎える「ウェスティンホテル東京」が、バラエティ豊

かな各種プランやフェア、イベントを提案した結果、宿泊・宴会・レストランの各部門とも売上高は前年同期を上回ることができました。

以上の結果、その他の事業の売上高は93億円（前年同期比7億円、8%増）となりました。

2. 連結キャッシュ・フローの状況

当第3四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは税金等調整前四半期純利益が148億円（前年同期比376億円増益）となったことなどにより、前年同期比で152億円収入が増加し、241億円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは投資有価証券の売却による収入が減少したことなどにより、前年同期比で4億円支出が増加し、28億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは4月に転換社債型新株予約権付社債を発行したことなどにより、前年同期比で93億円収入が増加し、66億円の収入となりました。

なお、当第3四半期末では現金及び現金同等物の残高は366億円となりました。

第3四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期末 (平16. 9.30現在)	前第3四半期末 (平15. 9.30現在)	増 減	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平15.12.31現在)
[資産の部]				
流動資産	143,784	114,951	28,832	134,534
現金及び預金	36,673	13,724	22,949	8,541
受取手形及び売掛金	63,055	58,098	4,957	73,281
たな卸資産	25,281	28,636	3,355	24,857
その他	19,020	14,687	4,333	28,147
貸倒引当金	246	194	52	292
固定資産	484,323	503,815	19,492	496,102
有形固定資産	417,071	436,074	19,003	429,811
無形固定資産	2,622	2,849	227	2,871
投資その他の資産	67,247	67,752	504	66,021
貸倒引当金	2,618	2,861	243	2,602
資産合計	628,107	618,767	9,340	630,637
[負債の部]				
流動負債	210,554	222,216	11,661	195,189
支払手形及び買掛金	37,234	30,981	6,252	31,215
短期借入金及び 1年内償還社債	80,337	98,072	17,734	39,149
未払酒税	26,728	27,405	676	43,692
その他	66,254	65,756	497	81,132
固定負債	320,194	334,959	14,765	348,060
社債	89,720	99,720	10,000	99,720
長期借入金	161,821	165,594	3,772	179,499
退職給付引当金	16,527	16,448	79	16,627
その他	52,124	53,197	1,072	52,213
負債合計	530,749	557,176	26,427	543,250
[少数株主持分]				
少数株主持分	-	26	26	22
[資本の部]				
資本金	43,831	43,831	-	43,831
資本剰余金	36,242	36,231	10	36,231
利益剰余金	13,287	20,670	33,958	4,953
その他有価証券評価差額金	4,561	2,639	1,922	2,895
為替換算調整勘定	301	302	1	349
自己株式	263	164	98	198
資本合計	97,358	61,564	35,793	87,364
負債、少数株主持分及び資本合計	628,107	618,767	9,340	630,637

第3四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 〔平16. 1. 1から 平16. 9.30まで〕	前第3四半期 〔平15. 1. 1から 平15. 9.30まで〕	増 減	前連結会計年度の 要約連結損益計算書 〔平15. 1. 1から 平15. 12.31まで〕
売 上 高	363,748	342,872	20,876	479,520
売 上 原 価	249,684	247,470	2,214	338,573
売 上 総 利 益	114,063	95,401	18,661	140,947
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	96,247	95,987	260	127,616
営業利益又は営業損失()	17,815	585	18,401	13,330
営 業 外 収 益	1,596	1,346	250	1,871
受 取 利 息 及 び 配 当 金	553	541	12	705
補 助 金 収 入	175	214	38	214
持 分 法 に よ る 投 資 利 益	48	-	48	10
そ の 他 の 収 益	819	590	229	941
営 業 外 費 用	5,290	6,304	1,014	8,413
支 払 利 息	3,801	4,418	616	5,779
た な 卸 資 産 廃 棄 損	845	1,162	316	1,756
持 分 法 に よ る 投 資 損 失	-	4	4	-
そ の 他 の 費 用	643	719	75	877
経 常 利 益 又 は 経 常 損 失 ()	14,122	5,544	19,666	6,788
特 別 利 益	1,710	3,063	1,352	19,864
固 定 資 産 売 却 益	1,143	1,930	786	18,685
投 資 有 価 証 券 売 却 益	391	1,132	741	1,178
そ の 他 の 特 別 利 益	175	-	175	-
特 別 損 失	959	20,279	19,319	24,382
固 定 資 産 除 却 損	611	19,092	18,480	22,112
そ の 他 の 特 別 損 失	348	1,187	838	2,270
税金等調整前四半期(当期)純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	14,872	22,760	37,633	2,270
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	5,018	334	4,683	1,836
法 人 税 等 調 整 額	54	683	628	1,409
少 数 株 主 損 失	22	567	544	569
四半期(当期)純利益又は 四半期純損失()	9,822	23,211	33,033	2,412

第3四半期連結剰余金計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 〔平16. 1. 1から 平16. 9.30まで〕	前第3四半期 〔平15. 1. 1から 平15. 9.30まで〕	増 減	前連結会計年度の 連結剰余金計算書 〔平15. 1. 1から 平15.12.31まで〕
(資本剰余金の部)				
資本剰余金期首残高	36,231	32,242	3,989	32,242
資本剰余金増加高				
自己株式処分差益	10	-	10	-
株式交換に伴う 新株式の発行	-	3,989	3,989	3,989
資本剰余金期末残高	36,242	36,231	10	36,231
(利益剰余金の部)				
利益剰余金期首残高	4,953	30,280	25,327	30,280
利益剰余金増加高				
新規連結による 増 加 高	125	28	96	28
新規持分法適用による 増 加 高	189	-	189	-
四半期(当期)純利益	9,822	-	9,822	2,412
	10,137	28	10,109	2,441
利益剰余金減少高				
配 当 金	1,777	1,692	84	1,692
連結子会社の決算期変更 に伴う減少高	26	-	26	-
連結子会社の合併に伴う 減 少 高	-	26,076	26,076	26,076
四半期純損失	-	23,211	23,211	-
	1,803	50,980	49,176	27,768
利益剰余金期末残高	13,287	20,670	33,958	4,953

第3四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期 〔平16. 1. 1から 平16. 9.30まで〕	前第3四半期 〔平15. 1. 1から 平15. 9.30まで〕	増 減	前連結会計年度の 要約連結 キャッシュ・フロー計算書 〔平15. 1. 1から 平15.12.31まで〕
営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益又は 税金等調整前四半期純損失()	14,872	22,760	37,633	2,270
減 価 償 却 費	19,196	21,334	2,138	28,434
退職給付引当金の増加(減少)額	133	482	616	661
貸倒引当金の減少額	30	314	284	474
受取利息及び受取配当金	553	541	12	705
支 払 利 息	3,801	4,418	616	5,779
有形固定資産売却益	1,143	1,930	786	18,685
有形固定資産売却除却損	611	19,654	19,042	22,945
売上債権の減少額	10,462	16,662	6,199	1,466
たな卸資産の増加(減少)額	303	389	693	4,161
仕入債務の増加(減少)額	5,631	6,458	12,089	6,198
未払酒税の増加(減少)額	16,964	16,218	745	68
そ の 他	5,172	50	5,122	2,101
小 計	30,273	14,667	15,606	37,620
利息及び配当金の受取額	605	680	74	786
利息の支払額	3,830	5,672	1,842	7,202
法人税等の支払額	2,852	728	2,123	728
営業活動によるキャッシュ・フロー	24,196	8,946	15,250	30,476
投資活動によるキャッシュ・フロー				
投資有価証券の取得による支出	211	2,356	2,145	2,370
投資有価証券の売却による収入	1,077	2,942	1,865	3,597
有形固定資産の取得による支出	5,141	5,827	686	8,424
有形固定資産の売却による収入	3,824	2,502	1,321	18,798
長期貸付金の実行による支出	599	136	462	143
長期貸付金の回収による収入	238	269	31	526
そ の 他	2,053	169	2,222	1,027
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,865	2,436	428	10,956
財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の増加(減少)額	18,368	12,691	5,677	14,585
長期借入れによる収入	6,106	42,050	35,944	59,050
長期借入金の返済による支出	30,968	17,658	13,310	52,399
社債の発行による収入	20,100	-	20,100	-
社債の償還による支出	-	50,000	50,000	50,000
社債償還充当金の払出による収入	-	20,000	20,000	20,000
配当金の支払額	1,765	1,690	75	1,695
そ の 他	5,158	8,094	2,935	3,128
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,682	2,701	9,383	42,757
現金及び現金同等物に係る換算差額				
現金及び現金同等物の増加(減少)額	48	105	153	154
現金及び現金同等物の増加(減少)額	28,062	3,703	24,359	1,479
現金及び現金同等物の期首残高	8,455	9,933	1,478	9,933
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	125	1	124	1
連結子会社の決算期変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	23	-	23	-
現金及び現金同等物の期末残高	36,667	13,638	23,029	8,455

事業の種類別セグメント情報

(単位：百万円)

摘 要	当第3四半期						平16. 1. 1から 平16. 9.30まで						
	酒 事	類 業	飲 事	料 業	外 事	食 業	不 事	動 産	産 業	その他	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高													
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	264,629	52,420	20,277	17,103	9,317	363,748	-	363,748					
計	3,890	187	-	3,897	19	7,995	(7,995)	-					
計	268,520	52,607	20,277	21,001	9,336	371,743	(7,995)	363,748					
営 業 費 用	254,810	52,028	20,177	16,050	9,758	352,826	(6,893)	345,932					
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	13,709	578	99	4,950	421	18,917	(1,101)	17,815					

(単位：百万円)

摘 要	前第3四半期						平15. 1. 1から 平15. 9.30まで						
	酒 事	類 業	飲 事	料 業	外 事	食 業	不 事	動 産	産 業	その他	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高													
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	247,953	48,469	20,050	17,785	8,613	342,872	-	342,872					
計	4,057	157	-	3,316	20	7,551	(7,551)	-					
計	252,010	48,626	20,050	21,101	8,633	350,423	(7,551)	342,872					
営 業 費 用	251,747	49,573	20,745	17,352	9,312	348,730	(5,272)	343,457					
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	262	946	694	3,749	678	1,693	(2,278)	585					

(単位：百万円)

摘 要	前連結会計年度						平15. 1. 1から 平15. 12.31まで						
	酒 事	類 業	飲 事	料 業	外 事	食 業	不 事	動 産	産 業	その他	計	消 去 又 は 全 社	連 結
売 上 高 (1) 外部顧客に対する 売 上 高													
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	341,924	65,169	26,591	33,429	12,406	479,520	-	479,520					
計	4,943	239	-	4,586	40	9,809	(9,809)	-					
計	346,867	65,408	26,591	38,015	12,446	489,330	(9,809)	479,520					
営 業 費 用	342,325	66,243	27,680	24,504	12,745	473,500	(7,310)	466,189					
営 業 利 益 又 は 営 業 損 失 ()	4,541	835	1,089	13,511	298	15,830	(2,499)	13,330					

(注)

(1) 事業区分の方法は、日本標準産業分類を参考にし、各事業の営業内容の類似性により区分しております。

(2) 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒 類 事 業	ビール・発泡酒等・ワイン・ウイスキー他・物流・プラント・アグリ
飲 料 事 業	飲料水
外 食 事 業	ビヤホール・レストラン
不 動 産 事 業	不動産賃貸・不動産販売・商業施設運営・ユーティリティ供給
そ の 他	ホテル等

(3) 営業費用のうち、消去又は全社の項目に含めた配賦不能営業費用の金額は、前第3四半期 2,491百万円、当第3四半期 1,241百万円であります。
前第3四半期は、平成15年7月1日の会社分割前の親会社本社の総務部門等管理部門に係わる費用2,000百万円及び会社分割後の親会社で発生した費用であります。
当第3四半期は分割後の親会社で発生した費用であります。

生産、受注及び販売の状況

1 生産実績

(単位：kl)

事業の種類別セグメントの名称	生産高	前期比(%)
酒類事業(ビール・発泡酒等)	723,387	+10.8
酒類事業(ワイン等)	13,138	+2.8
飲料事業(飲料)	27,150	9.9

2 受注実績

当グループでは受注生産を行っておりません。

3 販売実績

(単位：百万円)

事業の種類別セグメントの名称	販売高	前期比(%)
酒類事業	264,629	+6.7
飲料事業	52,420	+8.2
外食事業	20,277	+1.1
不動産事業	17,103	3.8
その他の事業	9,317	+8.2
計	363,748	+6.1